





心はきつと  
寄り添える。



2011年夏に公開された『神様のカルテ』。若手内科医・栗原一止（櫻井翔）が末期ガン患者の心と向き合い成長していく物語は、日本を温かい涙で包み大ヒットを記録しました。あの感動作が新たな心をつなぐ物語として選ってきます。

妻・榛名（宮崎あおい）の出産を心待ちに本庄病院での仕事に励む一止の前に、大学時代の同期で「医学部の良心」と言われていたエリート医師・進藤辰也（藤原竜也）が赴任してくる。親友との再会を喜ぶ一止だったが、辰也は勤務時間が終わるとすぐに帰ってしまい、時間外の呼び出しにも応じない。自分の生活を犠牲にしても患者のためにつくそうとする一止は、辰也のそんな姿勢に疑問を感じ、ついに衝突してしまう。だが、実は辰也は妻・千夏（吹石一恵）とのある事情を背負っていたのだった…。

そんな折、一止の恩師である貫田内科部長（柄本明）が過労で倒れてしまう。皮肉にも病の床に伏して初めて妻・千代（市毛良枝）との夫婦の時間を持つことが出来た貫田だったが、残された時間は既にわずかなものになっていた…。

友情とは？ 愛情とは？ 仕事とは？ そして、人間らしく生きるということは何なのか？

仕事を取るか“家族”を取るかですれ違ってしまう辰也と千夏——  
“家族”を犠牲にして医療に従事してきた貫田とそれを支えてきた千代——  
そして、新たな命を授かり“家族”を築こうとしている一止と榛名——  
かつては志を同じくした友を失いかげ、尊敬していた師が最期を迎えようとしている、医師として人間として心が揺れ動き、希望を見出せずにいる一止に、貫田は自分の命を削って作った「神様のカルテ」を継承して言葉をかけます。

「それでも希望はある。——それは君たちだ」

『神様のカルテ2』は愛にあふれた3組の夫婦がつなぐ命と希望の物語です。  
愛が命に変わっていく、その命のリレーは深い感動を呼び、  
観る人すべてに力強い希望をもたらしてくれることでしょう。



3.21 全国東宝系  
ロードショー

劇場内での映画の  
撮影・録音は犯罪です。  
映画公開の情報は  
www.eigakan.org  
0120-550098  
\*映画館により、実行委員会 運営が異なります。